

4. 生涯学習の実態とニーズ

(1) 生涯学習の実態

図7は、この1年くらいの間、市民の生涯学習の実態をみたものである。

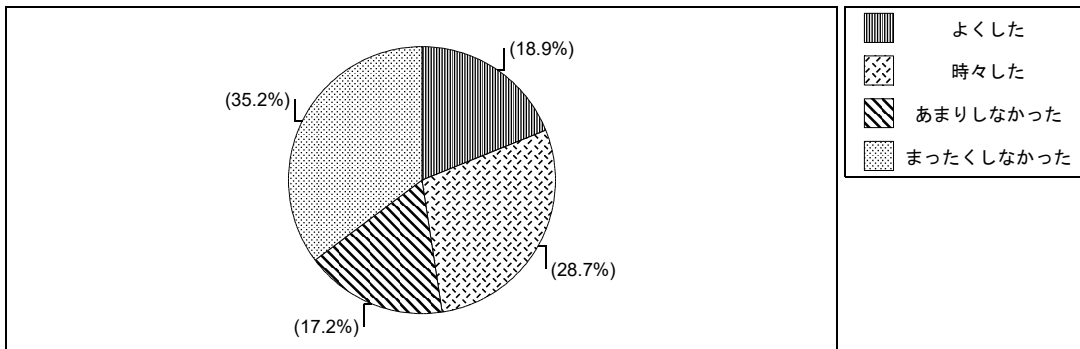


図7 生涯学習の実態

その結果、18.9%の人が「よくした」と回答し、「時々した（28.7%）」をあわせると47.6%の人が生涯学習を「した」と回答していた。

これを、性別にみたのが図8である。

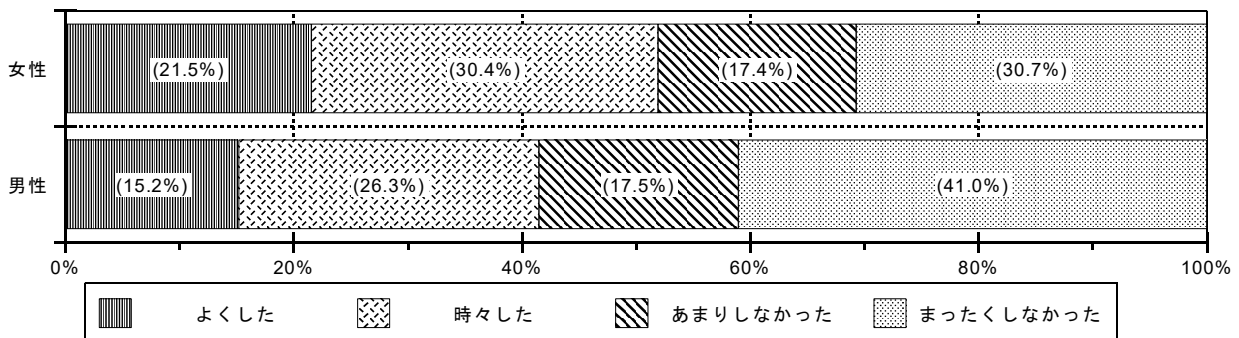


図8 性別にみた生涯学習の実態

その結果、生涯学習を「した（「よくした」＋「時々した」）」人の率は、「女性」で51.9%、「男性」で41.5%であり、「女性」の率が高くなっていた。

次に、年代別にみたのが図9である。

その結果、生涯学習を「した（「よくした」＋「時々した」）」人の率は、「成人前期」の人で48.8%、「成人中期」の人で37.9%、「成人後期」の人で52.7%であり、「成人中期」の人の率が低くなっていた。

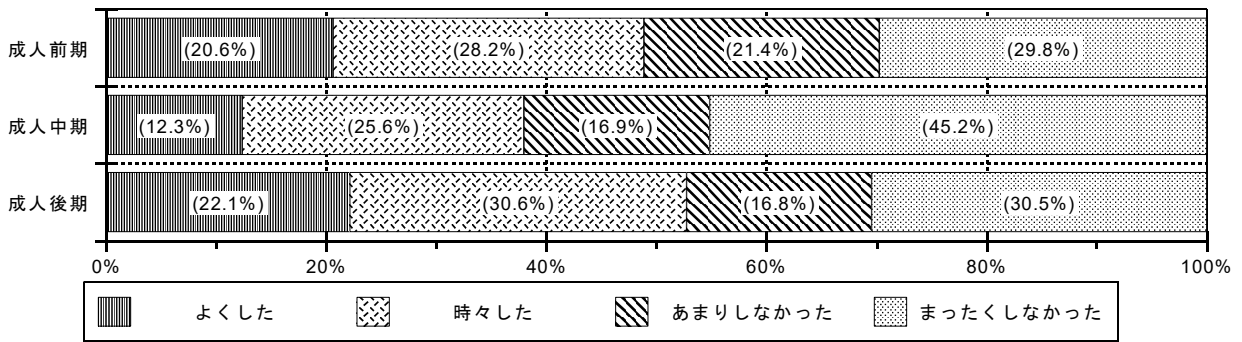


図9 年代別にみた生涯学習の実態

(2) 生涯学習の頻度

図10は、この1年くらいの間の、学習の頻度をみたものである。

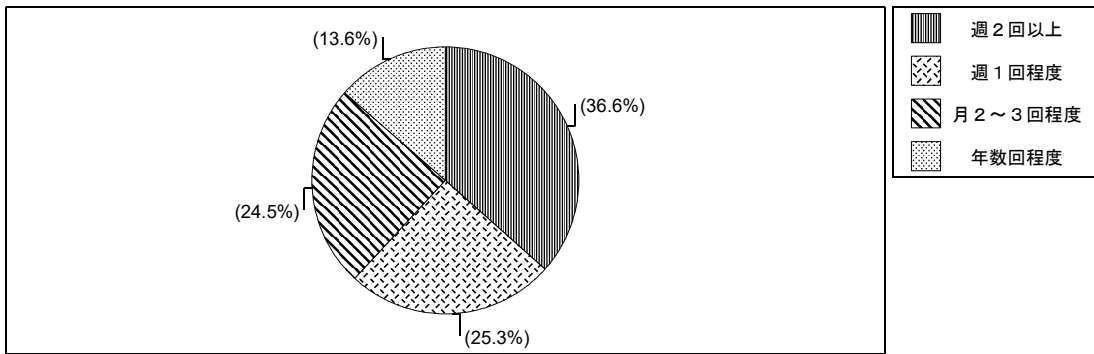


図10 生涯学習の頻度

その結果、「週2回以上」と回答した人の率が36.6%でもっとも高く、次いで「週1回程度(25.3%)」となっていた。

これを、性別にみたのが図11である。

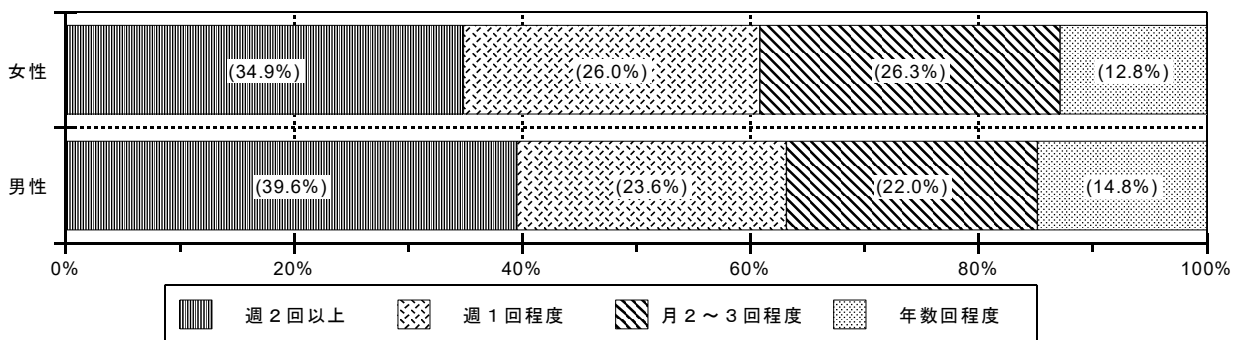


図11 性別にみた生涯学習の頻度

その結果、男女とも「週2回以上」と回答した人の率が高かったことは共通していたが、次いで「女性」では「月2~3回程度」、「男性」では「週1回程度」となってい

た。男女間に明確な差は認められなかった。

次に、年代別にみたのが図 12 である。

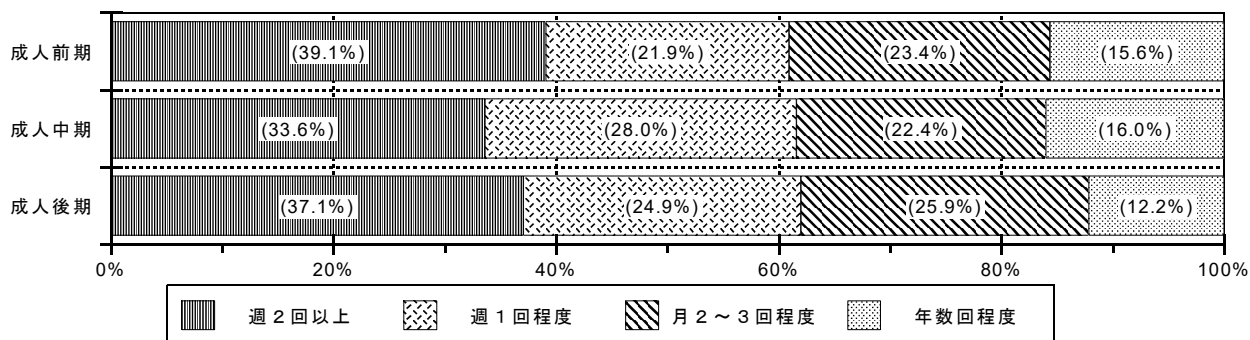


図 12 年代別にみた生涯学習の頻度

その結果、すべての年代で「週 2 回以上」と回答した人の率もっとも高いことは共通していたが、次いで「成人前・後期」の人では「月 2~3 回程度」、「成人中期」の人では「週 1 回程度」となっていた。年代間に明確な差は認められなかった。

(3) 生涯学習の内容

図 13 は、生涯学習の内容をみたものである。

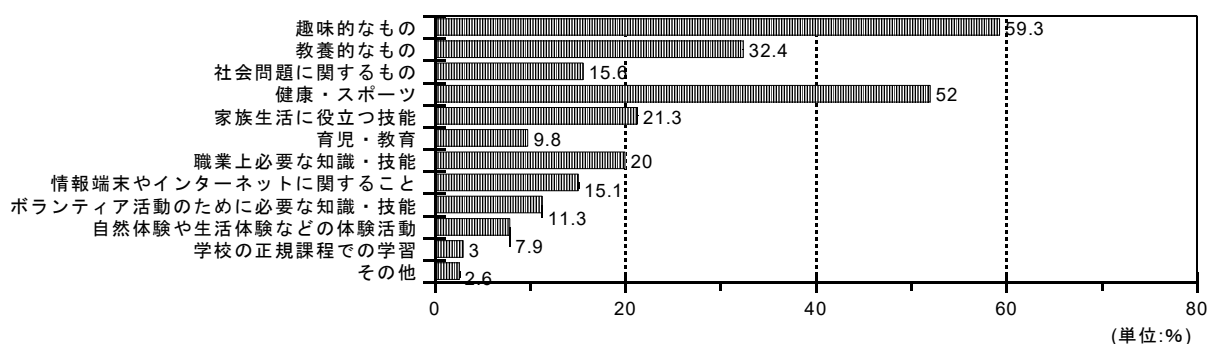


図 13 生涯学習の内容

その結果、「趣味的なもの」を学んでいる人の率が 59.3%でもっとも高く、次いで「健康・スポーツ (52.0%)」、「教養的なもの (32.4%)」の順となっていた。

これを、性別にみたのが図 14 である。

その結果、男女とも「趣味的なもの」を学んでいる人の率もっとも高く、次いで「健康・スポーツ」であることは共通していたが、次いで「女性」では「家庭生活に役立つ技能」、「男性」では「教養的なもの」となっていた。

また、男女で比較すると、「家庭生活に役立つ技能」では「女性」の、「教養的なもの」、「社会問題に関するもの」、「職業上必要な知識・技能」、「情報端末やインターネットに関すること」では「男性」の率が高くなっていた。

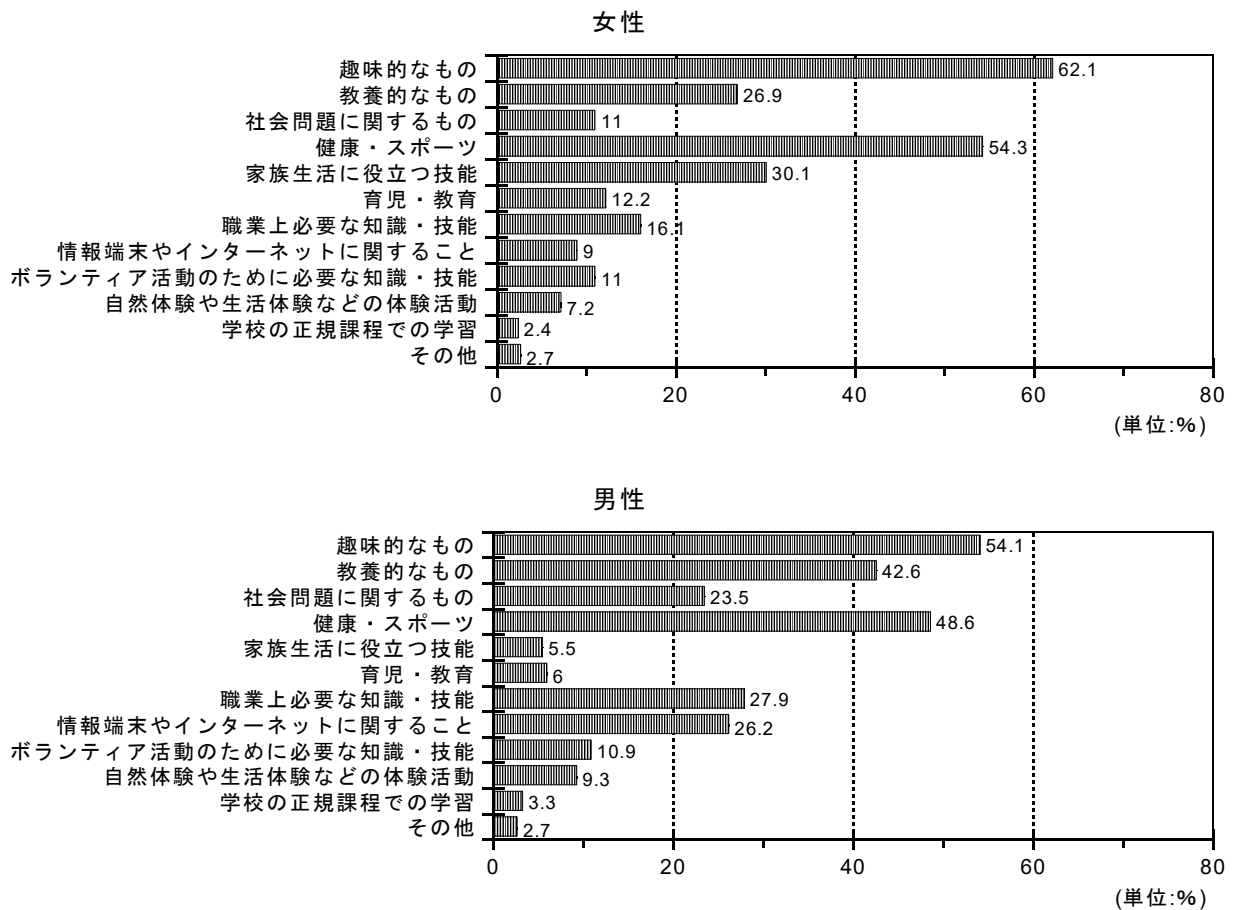


図 14 性別にみた生涯学習の内容

次に、年代別にみたのが図 15 である。

その結果、すべての年代で「趣味的なもの」を学んでいる人の率がもっとも高く、次いで「健康・スポーツ」であることは共通していたが、次いで「成人前期」の人では「職業上必要な知識・技能」、「成人中・後期」の人では「教養的なもの」となっていた。

また、年代で比較すると、「育児・教育」では「成人前期」の人の、「職業上必要な知識・技能」では「成人前・中期」の人の、「教養的なもの」では「成人中期」の人の、「健康・スポーツ」と「趣味的なもの」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

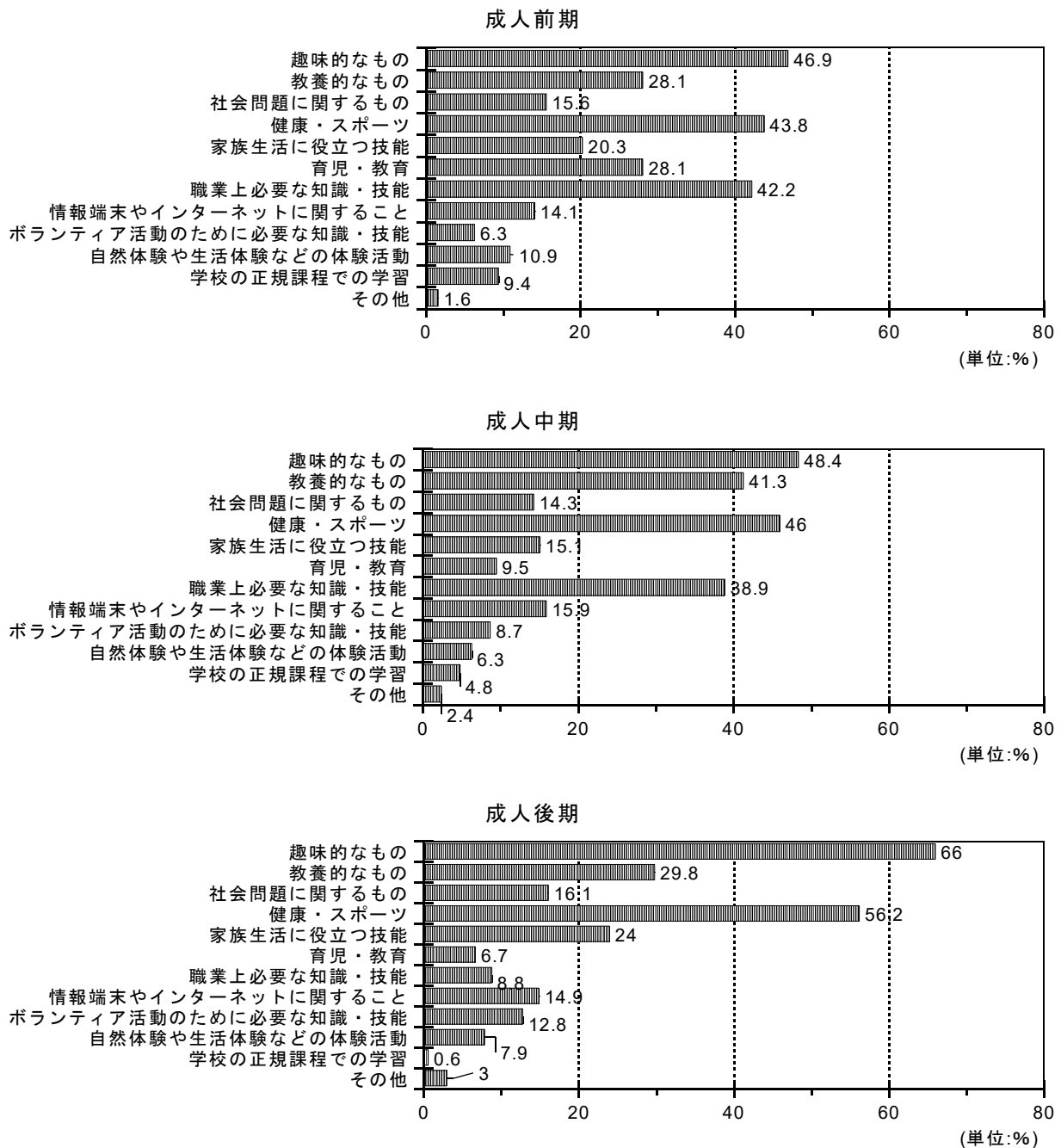


図 15 年代別にみた生涯学習の内容

(4) 生涯学習の阻害要因

図 16 は、市民が生涯学習をしなかった理由をみたものである。

その結果、「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」と回答した人の率が 59.3%で最も高く、次いで「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから（22.9%）」、「人前に出るのがおっくうだから（18.5%）」の順となっていた。

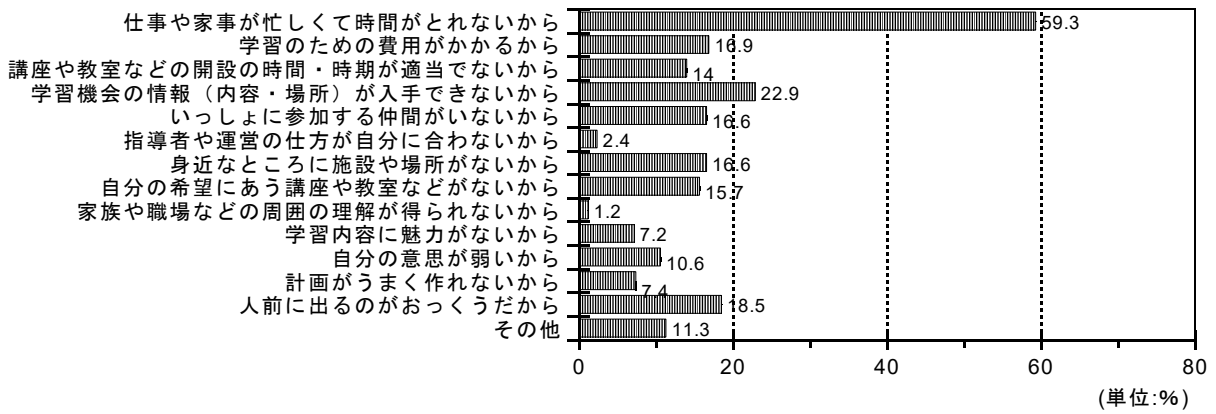


図 16 生涯学習の阻害要因

これを、性別にみたのが図 17 である。

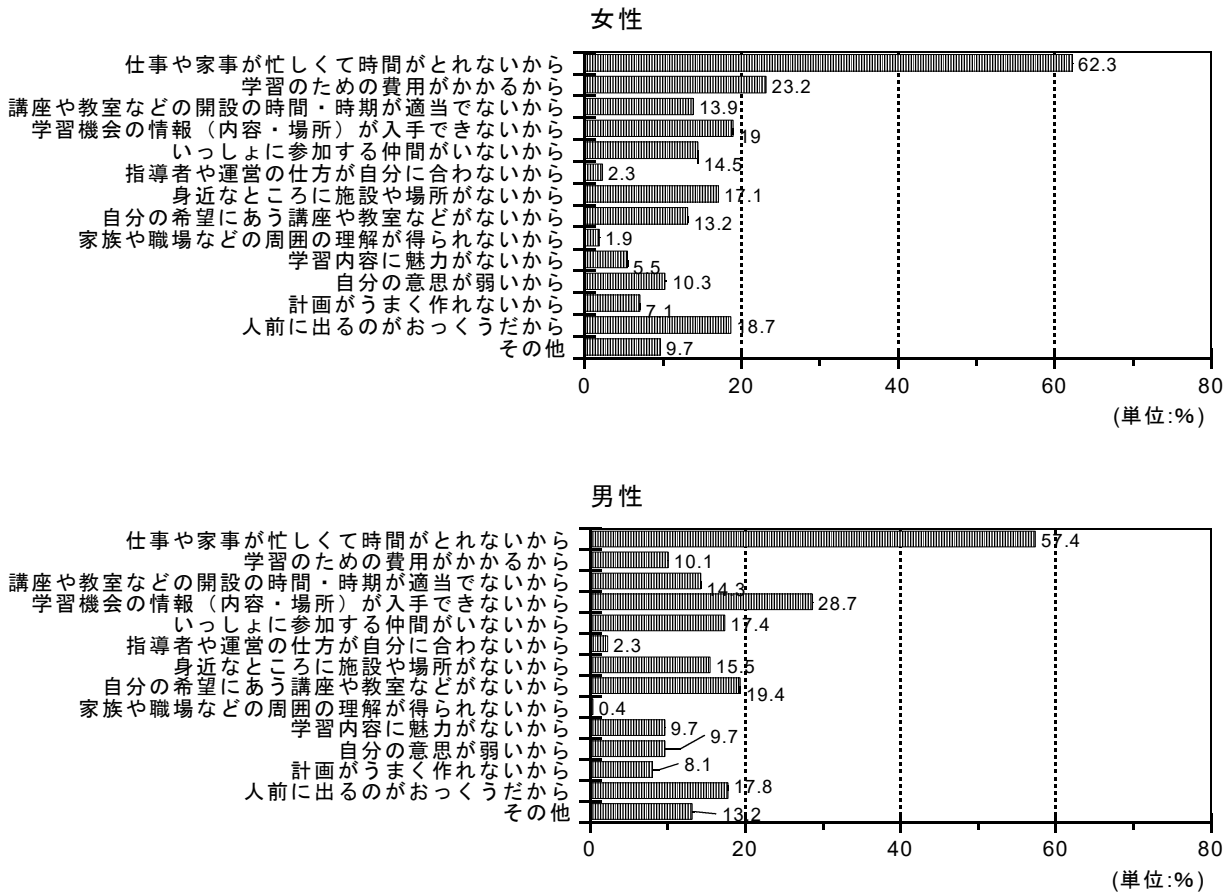


図 17 性別にみた生涯学習の阻害要因

その結果、男女とも「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」と回答した人の率もっとも高いことは共通していたが、次いで「女性」では「学習のための費用がかかるから」、「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」の順、「男性」では「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」、「自分の希望にあう講座や教室などがないから」の順となっていた。

また、男女で比較すると、「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」では「男性」の率が高くなっていました。

次に、年代別にみたのが図 18 である。

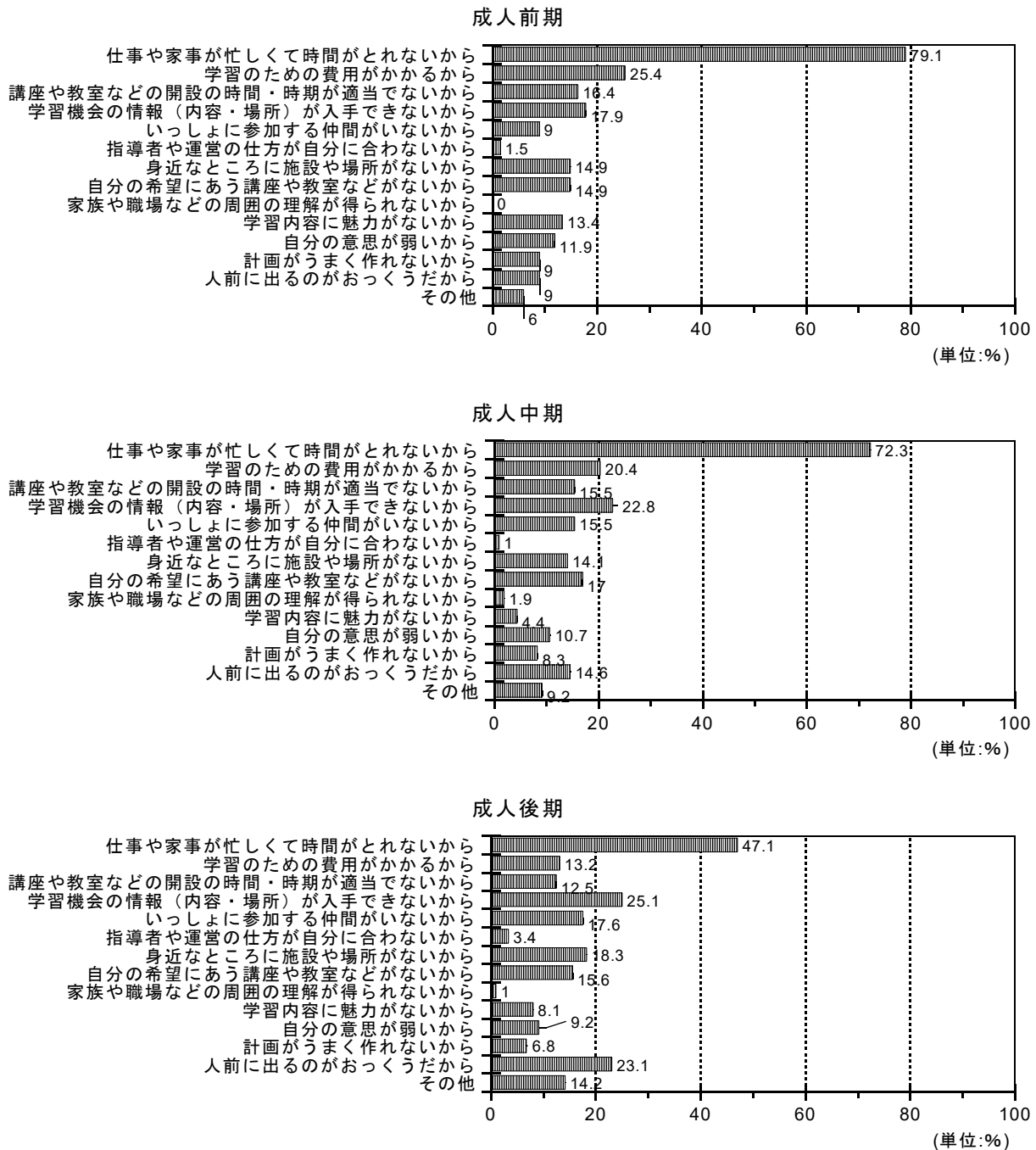


図 18 年代別にみた生涯学習の阻害要因

その結果、すべての年代で「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」と回答した人の率もっとも高いことは共通していたが、次いで「成人前期」の人では「学習のための費用がかかるから」、「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」の順、「成人中期」の人では「学習機会の情報（内容・場所）が入手できないから」、「学習のための費用がかかるから」の順、「成人後期」の人では「学習機会の情報（内容・場所）が

手できないから」、「人前に出るのがおっくうだから」の順となっていた。

また、年代で比較すると、「学習のための費用がかかるから」では「成人前期」の人の、「仕事や家事が忙しくて時間がとれないから」では「成人前・中期」の人の、「人前に出るのがおっくうだから」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

(5) 生涯学習のニーズ

図 19 は、市民の生涯学習のニーズをみたものである。

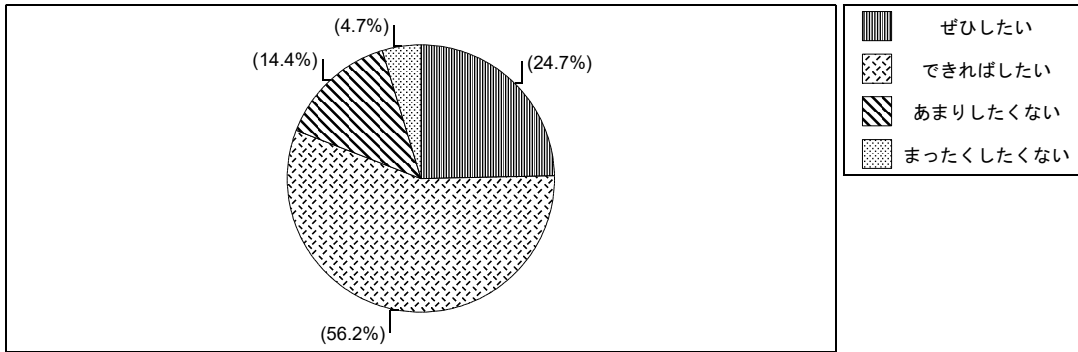


図 19 生涯学習のニーズ

その結果、24.7%の人が「ぜひしたい」と回答し、「できればしたい（56.2%）」をあわせると 80.9%の人が生涯学習を「したい」と回答していた。

これを、性別にみたのが図 20 である。

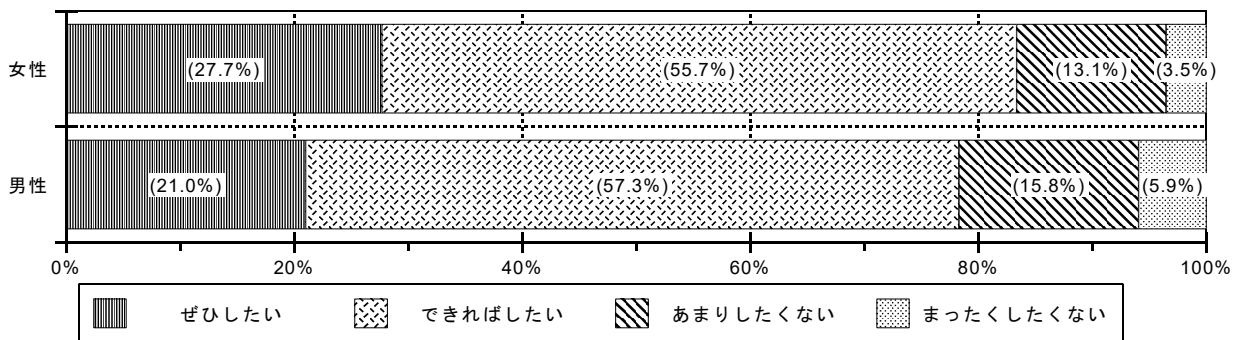


図 20 性別にみた生涯学習のニーズ

その結果、生涯学習を「したい（「ぜひしたい」 + 「できればしたい」）」と回答した人の率は、「女性」で 83.4%、「男性」で 78.3%であり、明確な差は認められなかった。

次に、年代別にみたのが図 21 である。

その結果、生涯学習を「したい（「ぜひしたい」 + 「できればしたい」）」と回答した人の率は、「成人前期」の人で 82.3%、「成人中期」の人で 85.1%、「成人後期」の人で 78.9%であり、年代間に明確な差は認められなかった。しかし、「ぜひしたい」と回答した人の率は、「成人前期」の人で高くなっていた。

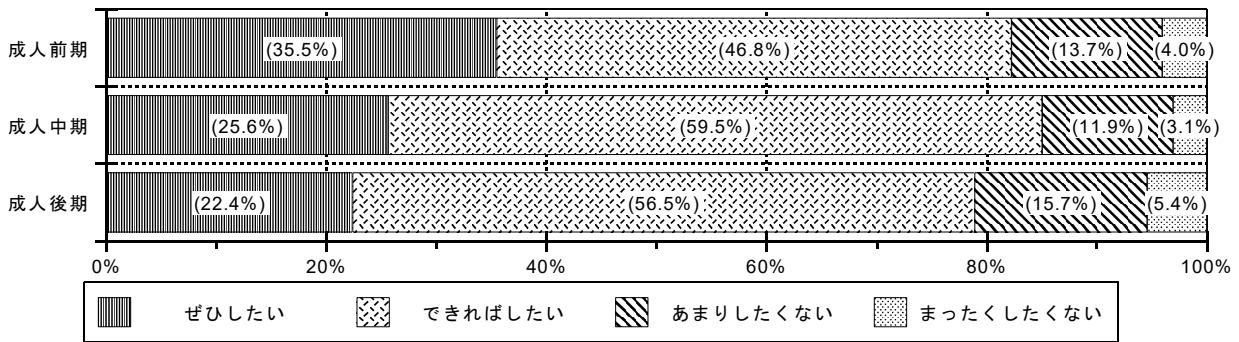


図 21 年代にみた生涯学習のニーズ

(6) 学習したい内容

図 22 は、市民が学習したい内容を見たものである。

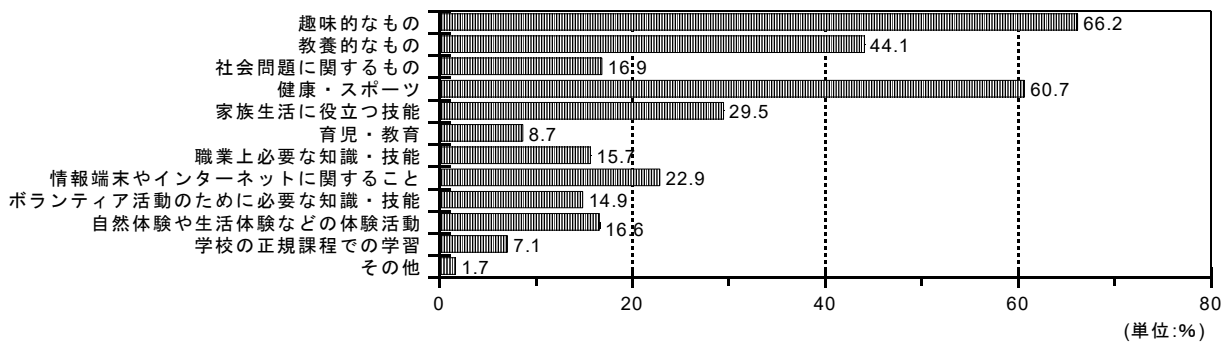


図 22 学習したい内容

その結果、「趣味的なもの」を学びたいと回答した人の率が 66.2%でもっとも高く、次いで「健康・スポーツ (60.7%)」、「教養的なもの (44.1%)」の順となっていた。

これを、性別にみたのが図 23 である。

その結果、男女とも「趣味的なもの」を学びたい人の率がもっとも高く、次いで「健康・スポーツ」であることは共通していたが、次いで「女性」では「家族生活に役立つ技能」、「男性」では「教養的なもの」となっていた。

また、男女で比較すると、「家庭生活に役立つ技能」と「健康・スポーツ」では「女性」の、「教養的なもの」と「社会問題に関するもの」では「男性」の率が高くなっていた。

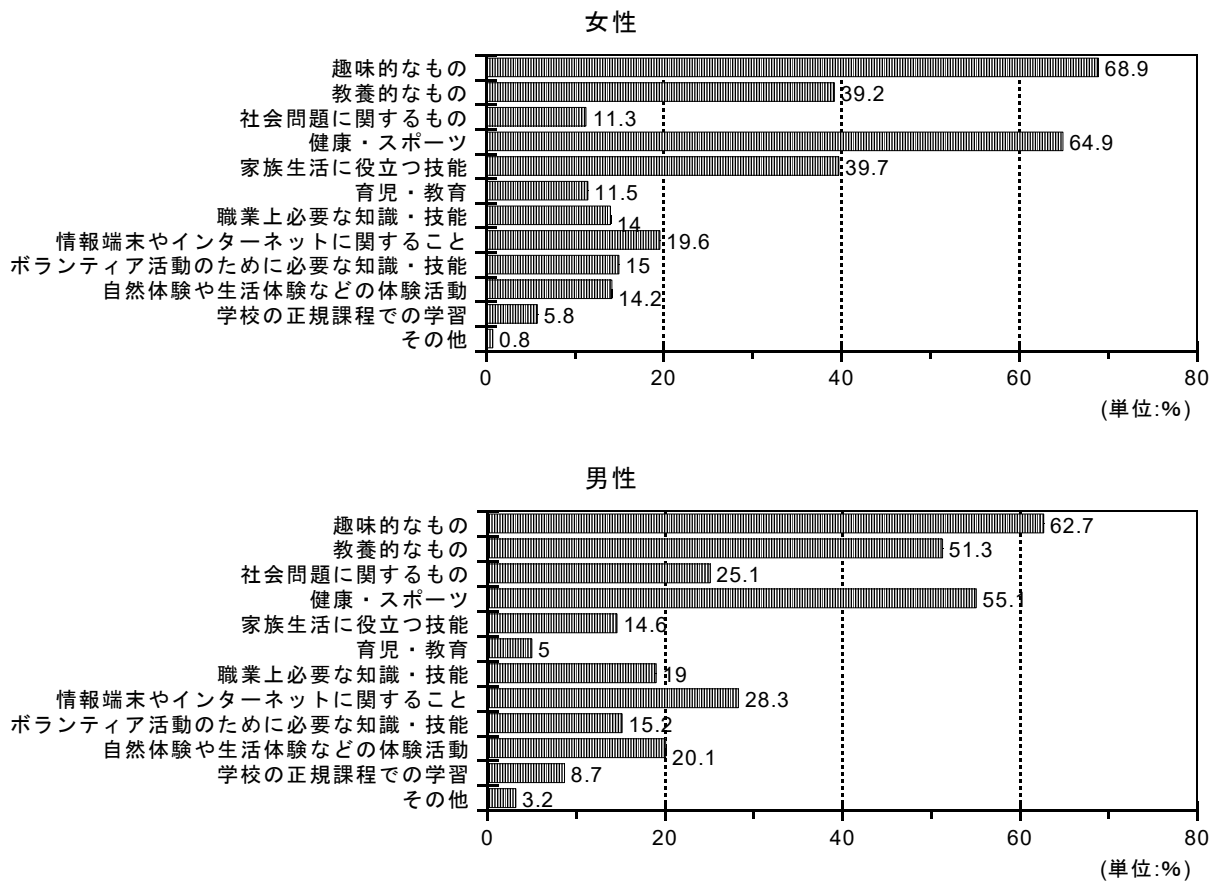


図 23 性別にみた学習したい内容

次に、年代別にみたのが図 24 である。

その結果、すべての年代で「趣味的なもの」を学びたい人の率が高くて、次いで「健康・スポーツ」、「教養的なもの」の順となっていた。

また、年代で比較すると、「趣味的なもの」、「家族生活に役立つ技能」、「育児・教育」、「自然体験や生活体験などの体験活動」では「成人前期」の人の、「職業上必要な知識・技能」では「成人前・中期」の人の率が高くなっていた。

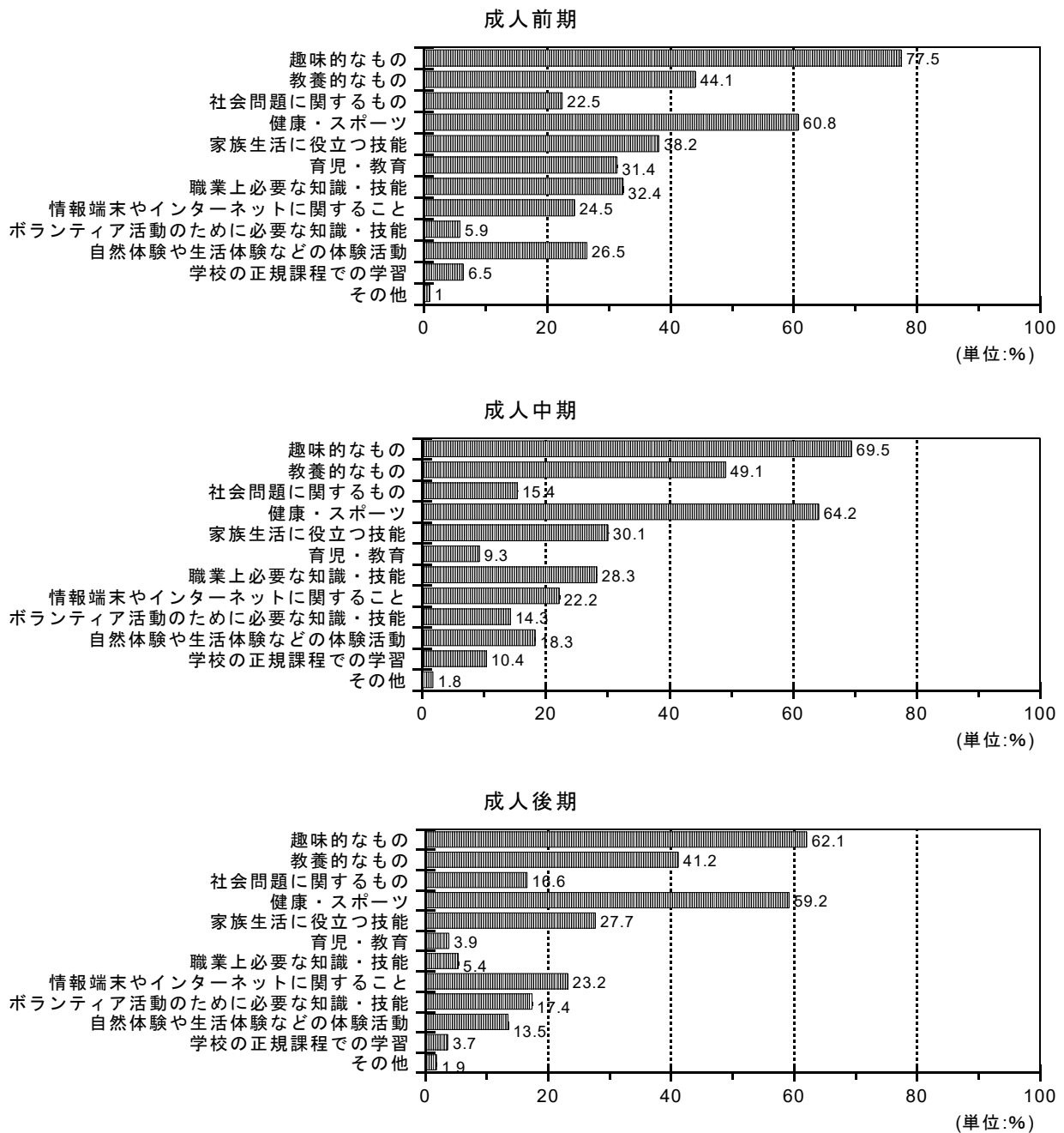


図 24 年代別にみた学習したい内容